シュワツと元気娘！（監督・佐藤茂）

バレーボールチームとしては、常に優勝を勝ち取る常勝チームになっている。
このチームが今回、ずば抜けたエースがいるとか、平均身長が他チームよりも高い訳でもないにも関わらず優勝できた背景には、メンバーを尊重したプレーに徹していることと、気付きをお互いすぐに共有できる環境であること、が挙げられる。

メンバーを尊重したプレーを行うには、個々の長所を見極め、そこを引き出そうとするプレーが必要であり、それができているのでチーム力は益々向上すると考えるため。

また、気付きをすぐ共有するということは、時には厳しい事を言う必要も出てくるが、「優勝」という共通の目標がしっかり握られており、お互いに技術向上を目的としているため、厳しい指摘をしても後ろめたさが無いチームになっていると認識している。

もう一点、それぞれが自分の役割を理解した行動ができている事も上げられる。特にキャプテンとマネジャーに至っては、他のメンバーの見えないところでの支えがすばらしい。

監督2人体制については、「監督とコーチ」など上下関係を付けることが必要性になってくると思う。上下関係を付けることで、判断スピードを上げることと、役割分担が明確になると考えるため。

以上を経験することにより、自身の業務に対しても、

- ・メンバーの長所を見極め、能力を引き出す手法を考える力
- ・目標（ゴール）をしっかり握ることで、お互いのスキルアップを目指す組織
- ・意思決定者（職責）としての判断スピード改善

に繋がってくるものと考えます。

シュワツと元気娘！ (監督・小菅)

バレーと言えば「春高バレー」(仮)の出場を目指して目標設定します
せっかくやるなら二流・三流ではなく「一流」を目的として活動していきたい
会社においてもそれぞれ役割は与えられるが力を結束して目標共有をする
もちろんレギュラー、補欠は出来るが公平にチームを構築してお互いを意識・ライバル視
し合う仲間にしたい

1年限定とするならば限られた時間なので休みは1ヶ月に1回のみ
練習にはプロ選手も招へいし緊張感と憧れでモチベーションUpを狙う
役割の中で強い組織創りや人としての成長を平行して行う
自身の成長がなければチームの成長もないと強く置き「変わる」自分を想像する
そして強みを活かし最強のチーム創りをし「幸せ日本一のチーム」にします

シュワツと元気娘！ (選手)

チームのために、積極的に行動ができて意見がだしあえると思う。

↳ リン士人が中心となって意見をだしたり、聞いたりするのでお互いの意見が分かるから。

チームには間違いなく上がると思う。

気持ちに寄り添う言葉が大切だから。

各試合で上位を目指せる。

1人1人に声をかけてくれて、自分たちのゴールを全力でできると思うから。

楽しいという感情がずっと出せる明るいチームになると思いますが、締められた雰囲気を作り出すのに時間がかかると思う。

チームのよすがもって見えなくなると思う。まだ自分の考えが、良い方向に行くような感じになると思う。

監督方は、1人1人のよすを発見して言葉にしてくれたりから。

チームメイトの間だけじゃなくて、監督まで距離が近く、コミュニケーションをしっかりとれる、とても良いチームになると思う。

また上手いプレイヤーが多いので、強いチームになると思う。

笑顔がたっぴいチームになるといいです。

私たちのチームは、たっぴいのこと、みんな話しかけて、コミュニケーションを多く取るチームでした。監督さんもたっぴいほめてくださり、応援してくださり、みんな笑顔になってたから。

、つなぎのバレー

監督が教えてくれたのはつなぎのバレーだと思ってるから。

ゴールで監督の言われたことは少ないので、自分達で動くことが大切だと思う。